好きです！にしわき！わたしのふるさと

教育委員会や学校園のホットな情報をお知らせします。

今、この時を輝いて生きる
次世代につなぐ、心豊かな人づくり、まちづくり

中学校で剣道の授業を体験

レントン市中学生使節団が西脇市へ
市内小・中学生と異文化交流

昭和44年に姉妹都市提携を結んだアメリカ合衆国ワシントン州レントン市から、中学生親善使節団をお迎えしました。毎年続いている相互ホームステイも今年で25回目です。

レントン市中学生使節団は、10月5日から9日間にわたって西脇市に滞在。市内観光をはじめ、多くの市民とも交流しました。

一行は日野小学校・双葉小学校を訪問し児童らと交流。各中学校では美術、習字、剣道などの授業や給食を体験しました。

また、旧来住家住宅では振袖や浴衣の着付け体験、伝統芸能の鑑賞をし、日本文化を満喫しました。

市内の小学生・中学生にとってもレントン市中学生との交流を通じて、異文化に触れるよい機会となりました。

レントン通りで記念撮影

法被に大喜び

浴衣を着て秋祭りへ

イモ掘りで交流

あぐりコラム 52
農業には魅力がいっぱい

西脇市では、今、農業振興を主要施策の柱の１つに位置づけ、さまざまな事業を推進しています。このコラムでは、農業に関係するいろいろな情報をお知らせします。

今年も新米が出回り始めています。今年のお米の最大のニュースは新品種の登場です。

昨年まで市内で最も多い品種はキヌヒカリでしたが、今年から「きぬむすめ」に変わりました。「きぬむすめ」は、キヌヒカリを母とする新品種です。生育期間が20日程遅いこともあり高温の影響を受けにくく、キヌヒカリと同様に良食味品種です。外見も美しく、炊飯すると艶があって白いことが特長です。

「きぬむすめ」は新品種のため県下各地で作付され始めていますが、本格的に転換した産地は、県下で初めてです。

北はりま旬菜館では、今年から地元産米を充実して販売しています。「きぬむすめ」をぜひご賞味ください。

キヌヒカリの娘『きぬむすめ』が登場！

○11月は秋のイベントが盛りだくさん

10日、11日の２日間、「西脇市農業祭」が開催されます。農産物の即売会や黒田庄和牛の焼肉、カレー、ラップサンド、新米の炊き込みごはん、焼きイモ、焼き鳥などグルメもいっぱい。催しでは、毎年恒例の俵かつぎ大会や西脇産の山田錦を使用した日本酒の利き酒コーナーも見逃せません。

また、西脇経済センタービル前では産業フェスタが同日開催され、北はりま旬菜館では11日にミニトレインが走るなど楽しい催しが目白押しです。ぜひ各イベント会場に足を運んでみてください。

ほっとコラム 61

市長　來住壽一

防災講演会から…

霜月になり、冬の到来を思うころになりました。今日から、年賀状が発売されます。歳のせいなのか、一年が短く感じられます。

未曾有の大災害となった平成16年災害から８年が経過した日に防災講演会を開催。各地で事業が開催され、行楽の秋の最中、来てもらえるだろうかと心配しましたが、178名に聴講いただきました。講師は、静岡大学の牛山素行先生。内閣府の中央防災会議の専門委員をはじめ多くの省庁の委員をされている第一人者。各地の災害現場の調査研究から、いざという時の冷静な判断、行動の大切さを教えていただきました。講演の中から、皆さんにお知らせしたいことがいくつかあります。

災害の教訓というのは、西脇でどのような雨が降れば災害が発生する恐れがあるのか、ということでした。西脇での過去のデータからすると、時間雨量で60ミリ、降り始めから200ミリを超えると災害の危険性が高まると指摘されたことです。それ以下でも災害は起こり、以上でも起こらないのが実態ですが、共通の基準にしたいと考えています。

先生の専門は災害情報学。洪水災害時に雨戸や屋根の点検中、川の状況や田畑に見回り、避難途中など、屋外にいて犠牲になる人が多く、避難勧告発令時であっても、地域内が危険な状況になっていないかを確認することが大事。各地域の状況が異なり、画一的な行動では、自分の命が守れるとは限らないと指摘。

やはり、一人ひとりの的確な判断が求められることになります。そのためには、普段から防災に対する意識と地域の状況を把握する力を高めることが必要です。16年災害の記憶を風化させないで、「災害は起りうるもの」として、地域の自主防災活動を通して、防災意識を高めていただきたいと願っています。

３日に、県立の横尾忠則現代美術館が神戸市にオープンします。世界最大の横尾芸術の拠点です。私たちも、共に喜び合いましょう。皆さんも横尾現代美術館にお運びください。

心のスケッチ 59 人権教育室コラム
ロンドンパラリンピックに思う

日に日に寒くなってきました。ロンドン五輪はついこの間のことのようにも思われ、今もなお熱気が記憶の中に残っています。同じ地で、身体障害者の世界最高峰スポーツ競技大会であるパラリンピックが行われ、シッティングバレーボール（床に臀部を接触させたまま行うバレーボール）に西脇市出身の岡平ゆかりさんが出場されました。

パラリンピック直前に、岡平さんを激励する会が行われました。西脇南中出身の岡平さんは、高校受験を目前に骨肉腫を発病し、入院先の病院で受験されたそうです。見事に合格されましたが、その後片足を切断するという大手術を受けられることになりました。岡平さんのあまりにも過酷な体験に私の心はひどく痛み、言葉もありませんでした。

その会で、中学時代の担任の先生の話を聞くことができました。当時の級友に「彼女を一人にするな！」と呼びかけられ、何度も級友と共に病院を見舞われたそうです。岡平さんは「闘病中も先生や友達がそばにいてくれた。西脇には私の原点があります」と声を震わされました。

大会では地元イギリスに快勝し、念願の一勝をあげられました。大舞台での活躍の裏側には並々ならぬ努力と精進があったに違いありません。つらさに涙された日もあったことでしょう。栄えある舞台までの日々を支えたのは、人との出会いや、そこで育まれた絆だと思いました。やはり人は、人との温かい繋がりの中でこそ生きる勇気を得ることができるのだと感じました。岡平さんの活躍に私も大きな勇気をもらいました。

消費生活センターから・・・
ブラックリストって!?

クレジットやローンで支払いが遅れると、「ブラックリストに載る」と言われます。

しかし実際には、信用情報機関に支払いが遅れた人が書かれたリストといったものがあるわけではありません。

信用情報には、クレジットやローンの利用実績など客観的な取引事実が記録されています。新規クレジットやローンを利用するときに、信販会社が利用者の「信用力」を判断するために、その情報を確認しています。

信用情報のうち一定期間が過ぎれば消されるものもありますが、ローン審査が心配な場合は、左記まで開示請求しましょう。

○全国銀行個人信用情報センター
（☎0120-540-558）
○CIC（クレジット）
（☎0120-810-414）
○㈱日本信用情報機構（サラ金）
（☎0120-441-481）

◆問合せ　西脇市消費生活センター（生活環境課内）☎22-3111